

2024年5月6日

ロシア民謡「郷愁」について

ロシア民謡「郷愁」（共同音楽出版社、平山英三郎編、マンドリン合奏曲集）の原典を調べていたら、インターネットに勇壮なものが見つかりました。普通にロシア民謡で検索しても見逃してしまうでしょう。下記 You Tube で確認できます。

[ソ連軍歌] 行進曲 祖国への郷愁 Тоска по Родине

<https://www.youtube.com/watch?v=htUNAd9Y1Kk>

【ロシア軍行進曲】 Тоска по Родине / 祖国への郷愁

<https://www.youtube.com/watch?v=qPmdqdaWi0E>

ロシア語のタイトル Тоска по Родине で検索すると別の YouTube もいくつか出てきます。

いわゆる「ロシア民謡」と称する楽曲は多数あって、戦後歌声運動等で歌われ、マンドリンやギターでよく演奏されてきました。ロシア語のオリジナル歌詞から日本語訳詞を作る際に、訳詞に際して「意味のずらし」が行われるなど、戦後の日本人に親しまれるように戦争などのことばが削除され、調整されているようです。（下記、千葉大学の浜崎先生の論文参照）

例えば、ロシア民謡「ともしび」の原典の一節「そして憎むべき敵を若者はさらに力を込めて撃つ、祖国ソヴェトのために、祖国のともしびのために」、また、「カチューシャ」の原典の一節「遠い国境の戦士に」など、日本語訳詞から読み取ることはできない。

今後ロシア民謡を演奏曲として取り上げる際にその原典が気になります。日本語の歌詞だけから原典を推察できない場合が多々あるようです。これを調査研究された千葉大学の先生の論文があり、インターネットでダウンロードして参照できます。

https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/100388/BA31027730_304_p031_HAM.pdf

“浜崎真吾、戦後日本における「ロシア民謡」の受容と変容 ―訳詞はいかに作られるか―”

（ページ数は多いですが、拾い読みすると参考になります。）